

2002～2003

特別号

2003.7.4

ガバナー月信

Rotary International District 2640

Governor's Monthly Letter



2002 - 2003年度RIテーマ

目 次		PAGE
飯沼 剛パストガバナー略歴		1
飯沼 PDG を偲んで	ガバナー 小島 哲	2
飯沼 剛先生を偲び	PDG(1985 - 86) 月山 和男	2
飯沼 PDG の訃報に接し	PDG(1986 - 87) 中島 治一郎	3
飯沼パストガバナーを偲ぶ	PDG(1990 - 91) 大丸 昌讓	3
知らなかった先生の深謀に感謝・感謝！！	PDG(1992 - 93) 大澤 徳平	4
永遠に幸あれ 飯沼先輩に捧ぐ	PDG(1994 - 95) 才門 三郎	5
地区生みの親・故飯沼剛パストガバナーを偲んで	PDG(1996 - 97) 中村 幸吉	6
飯沼 剛パストガバナーのご冥福をお祈りして	PDG(1998 - 99) 亀岡 弘	6
故飯沼パストガバナー追悼文	PDG(2000 - 01) 水田 博史	7

国際ロータリー第2640地区
ガバナー 小島 哲

飯沼 剛パストガバナー略歴

生年月日：1914年11月17日



ロータリー歴

1959年1月	堺ロータリークラブ入会
1960 - 61年度	同上 幹事
1963 - 64年度	〃 SAA
1964年8月25日	松原RC創立総会 拡大副委員長
1966 - 67年度	第365地区年次大会大会SAA
1972 - 73年度	会長
1980 - 81年度	RI第266地区ガバナー
1981年	ロータリー財団功労表彰状 受賞
1981 - 82年度	日本地区ロータリー財団推進諮問委員 ロータリー米山奨学会評議員
1982 - 83年度	ロータリー財団部門カウンセラー 国際サービス部門 〃
1983 - 84年度	国際奉仕委員会カウンセラー 地区財団委員会 〃
1984 - 85年度	ロータリー財団特別功労賞 受賞 国際奉仕委員会カウンセラー 地区財団委員会 〃 意義ある業績賞委員会
1985 - 86年度	国際奉仕部門カウンセラー 地区財団部門顧問
1986 - 87年度	国際奉仕部門カウンセラー 財団部門顧問
1988 - 89年度	職業奉仕部門カウンセラー
1990 - 91年度	拡大部門顧問
1992 - 93年度	拡大部門アドバイザー
1994 - 95年度	青少年部門アドバイザー
1995 - 96年度	職業奉仕部門アドバイザー
1997 - 98年度	クラブ奉仕部門アドバイザー
1998 - 99年度	拡大部門アドバイザー
2001年度～	堺ロータリークラブ名誉会員
2003年5月30日	ご逝去 88才

マルチプルポールハリスフェロー	16回
ベネファクター	5回
数次米山功労者	9回

飯沼 PDG を偲んで



飯沼先生は、昭和 34 年に私の親父と一緒に堺ロータリークラブに入会されたそうでありました。松原ロータリーを堺クラブが拡大された時のガバナー特別代表は私の親父と云うことになっておりますが、実務は全て飯沼先生にお任せしたらしいと聞いております。

私がロータリークラブに入会させて頂いた

国際ロータリー第 2640 地区 ガバナー 小島 哲

時、飯沼先生は大変懐かしがられ、あの辛口の先生から「あの小島さんの息子さんか」と随分可愛がっていただきました。

飯沼先生がガバナーをお勤めになりました時の地区大会は、確か大阪の池田市で(私の自宅の近くで)開催されたと記憶しております。

お体を悪くされてからもロータリーの会合には出てこられました。すぐお疲れになる様子で心配しておりました。お見舞いにも行けずにお別れとなり非常に残念な思いであります。

飯沼先生、特にガバナーになりましてから、もう一度お目にかかりたかったと思います。今ごろ、私の親父とロータリーの事、私の悪口でもお話になっておられるのでしょうか。安らかに眠り下さい。

飯沼 剛先生を偲び

国際ロータリー第 2640 地区 PDG(1985 - 86) 月山 和男

平成 15 年 6 月 1 日、大澤 PDG より飯沼先生が亡くなられたとの訃報に接し、愕然とし直ちに皆様方にお伝えしなければと電話連絡いたしました。日曜日のことでもあり、且つ国際大会に皆様方が御出席され、お留守の方が多く殆んど連絡出来ずに申し訳なく存じました。

思い返せば飯沼先生は私がクラブ会長をしていた時の地区ガバナーであり、私の所属する和歌山南 RC の二十周年記念の年でありましたので、特に人一倍の御指導、御教授を頂き感謝いたしておりました。先生は当 2640 地区では分割前の唯一の PDG であり 2660 地区との連絡調整に御尽力いただいておりますし、分割に際して大変御苦勞の末、分割案をま

とめられた御功績は大変なものであります。先生は常に手続要覧を片手に地区の会議に出席なされておりましたが、至る所に付箋を付けられ、新しい理事会決議等を追加され、改正文にはアンダーラインを引いているのを眼にして、これ程まで勉強しなければガバナー職が勤まらないのかと感心いたしましたのであります。

先生がお亡くなりになり、その前夜祭が大阪キリスト教会でとり行われ、先生と最後のお別れをいたしました。本当に安らかなお顔でありました。今はただ先生の御冥福を祈り、御遺徳を偲び拙い一文を寄せさせていただきます。

飯沼 PDG の訃報に接し

ブリスベンでの国際会議参加中に訃報に接し、ご葬儀に参列出来なかった事は、実に残念であった。ゴールドコーストの天を仰ぎ、暫し「巨星墜つ。」の感慨に浸った。

飯沼 PDG は、1980 - 81 年度だから、加藤恒七 PDG、服部禮次郎 PDG、今井鎮雄 PDG の皆様とご同期である。加藤さんは、3 歳年上で未だ意気盛んで居られるので、飯沼さんも、まだま

国際ロータリー第 2640 地区 PDG(1986 - 87) 中島 治一郎

だお元気で居って頂けると考えていた。ロータリーが、新しい世紀を迎えるに当り、過去、現在を点検し、原点を見直して、大いに姿勢制御を心掛けねばならない時、最高のアドバイザーを失った感が強い。当地区にとって掛け替えの無い人を失った。

今はただ、天上にあって永遠の幸せに恵まれ、私達を暖かく見守って下さる事を祈る。

飯沼パストガバナーを偲ぶ

この度、地区の大先輩、最長老の飯沼先生がお亡くなりになりました。地区から大きな一つの星が消えた感じです。晩年はクラブ例会にもご出席がなく、お会いする機会もございませんでした。

堺労災病院入院時には 2 回程、お見舞いに寄せて頂きました。その節お話をさせて頂いたのが最後となりました。淋しくなりました。飯沼先生はロータリアンの集まる席ではとても辛口でした。時々厳しいことも話されました。ただ個人的にお会いした時はとても物分りの良いやさしい人でした。

私は誉めて頂くことが多く、叱れた記憶は一度もありません。質問をさせて頂きますと、丁寧に自らの考え方を教えて下さいました。先生がガバナーの時は未だ第 266 地区として大阪と一緒に地区でしたのでクラブ数も 100 近くあり、ガバナー年度は翌年の 2 月頃まで公式訪問があり大変だったとよく話されて居られました。飯沼先生のガバナー年度は 1980 ~ 81 年度であり、私は丁度 10 年後、1990 ~ 91 年度のガバナーをさせて頂きました。何かのご縁を感じます。

国際ロータリー第 2640 地区 PDG(1990 - 91) 大丸 昌讓

私のガバナー年度(1990 ~ 91 年度)の地区大会の RI 会長代理は浜松の第 2620 地区、加藤安里パストガバナーでした。一寸特異な方で有名人です。飯沼先生とは同期であり、RI 会長代理と決まった時、飯沼先生から加藤様に電話をして下さったり、加藤安里パストガバナーのいろいろな資料を数多く参考にしなさいとお持ち下さいました。表面からは判らないきめ細やかな心づかいをして頂きました。私は会長代理の性格、お人柄、プロフィールを知ることが出来、地区大会も皆様の温かいご協力で大成功させて頂きました。心に残る地区大会となりました。飯沼先生に誘われて堺南ロータリークラブの赤坂先輩と私と神戸の関西ロータリー研究会によく出席致しました。後でその当時、お世話されて居られました末積様がアメリカへ行かれまして関西ロータリー研究会が消滅してしまいました。飯沼先生は大阪でやろうと話され、赤坂、大澤、私にお世話をするようにとのご依頼がありました。赤坂様も亡くなり、私も多忙のためお手伝いが出来ず大澤様が現在お一人でお世話をして居られます。これも飯沼先生の大きい遺産ですので大切に守ってい

って頂きたいと思って居ります。少し思い出を書かせて頂き先生を偲ばせて頂きました。心よ

りご冥福をお祈り申し上げます。

知らなかった先生の深謀に感謝・感謝！！

国際ロータリー第 2640 地区
PDG (1992-93) 大澤 徳平
堺ロータリークラブ

飯沼先生との出会いは勿論ロータリーに入会を許された時です。入会まもない頃、声を掛けて頂き歳を聞かれました。そしてロータリーに少しずつなれる様に、その為には例会出席を先ず一番に考えなさいと、そして『ロータリーは論議するものではなく、行動するものであり、教えるものでなく、示すものだ』とお教え下さいました。『与える者の喜びが、与えられる者の淋しさになってはならない。与える者も、与えられる者も、共に喜ぶことが恵みの本当の姿ですよ。』とよく言っておられました。

先生から教わったことで今も実行致しているものを2つ。『お尋ねがあればお答えなさい。無ければ言わなくて宜しい。』ロータリーの世界は頭で覚えるものではなく、身体で覚えるもの、みんな横一線だと言われております。それともう一つは『大事なことを頼むときは、忙しい人に頼みなさい。』忙しい人ほど時間の管理が出来ています。暇な人に頼めば何時出来るか分かりませんよ、と教えて頂きました。

昭和生まれの初めての会長に選ばれたとき、先生から関西ロータリー研究会の話聞き参加を勧められました。難しい話かと恐る恐る出席してみると、本音が飛び交う会場でロータリーを知る上には格好の勉強の場であることを知った。伝統ある堺クラブの会長になるにはこれは良い所を教えていただいたと喜んでいたら、先生から世話人になってくれないかと声が掛かりました。この会は絶対に残していきたいと過去・現在・未来を熱っぽく話され、私が付いているからやってくれとのこと。数えて 18

回例会から世話人につきました(現在 69 回目)。この会が生まれた昭和 47 年からだと 89 回になります。

その間『世界のロータリーと日本のロータリー』RI 元会長向笠広次氏、『変貌せねばならぬロータリー』RI 元理事伊藤恭一氏、『RI 理事に聞く』元理事千宗室氏、『これからのロータリーの課題 時代の流れを検証す』元理事今井鎮雄氏、『欲望の自己制御とロータリーの精神』元理事佐藤千寿氏、等々のお歴々の講演からパストガバナーの皆さまに本音で熱く語って頂きました。

横一列のロータリー、厚かましくも一緒になってお話をさせて頂いたお陰で後にガバナーを仰せつかったときに、慌てず騒がずやり遂げられたのもこの時の勉強が効きました。

知らなかった先生の深謀である。感謝 感謝。

もう一つ、不思議な写真が存在する。誰が写されたかは定かでない。背景からは飯沼先生がガバナーに就任された初めての堺ロータリーの例会場だ。本日の卓話の看板から読み取れる。既にガバナーになられた尾形繁之先生・飯沼剛先生・播野林太郎氏、それに私が写っている。この時期、播野さんがガバナーになられることなど全く予想もなく、謂わんや私がガバナーになるなんて夢にもないことが写真に残されていたことです。4人が揃った写真も先生の深謀か。

私の人生を大きく変えていただき、それも素晴らしい人生に。本当に有難うございました。先生のロータリーの心はしっかりと受け継ぎ

次に伝えていきますことをお誓い申し上げます。どうぞ安らかにお休み下さい。アーメン。



尾形

飯沼

大澤

播野

永遠に幸あれ 飯沼先輩に捧ぐ

国際ロータリー第 2640 地区
PDG(1994 - 95) 才門 三郎

敬虔なるクリスチャンとしてイエスキリストのもとへ旅立たれた飯沼さんは、今静かにロータリー生活を振り返っておられると思います。多数の会員の前で揶揄の質問には毅然として答え、齒に衣をきせない、大正の始めに生まれた明治の気風そのままに自説を曲げない、あの当時のお姿が思い出されます。私がガバナーノミニーとして飯沼さんの所へお伺いした時、長時間に亘り懇切丁寧に細部にいたるまで、詳しくご教示賜りそのことが、ガバナー遂行の日々に変参考になり役立ったことを今も感

謝しております。

20 年前、266 地区の分割にも当事者として種々ご苦労されて 2640 地区の誕生に貢献されたこと、そして指導者として、この地区の発展にご尽力されたご功績は大きく、謹んで厚く敬意を捧げるものであります。時代と共に変化を遂げるロータリーにも、決して軸の振れることのない、私達後輩の行動を、見守って頂くことを心からお願いしてお別れの言葉と致します。

合掌

地区生みの親・故飯沼 剛パストガバナーを偲んで

国際ロータリー第2640地区
PDG(1996 - 97) 中村幸吉

去る6月3日、大阪市内の教会において行われた告別式で、牧師さんの故人を偲ぶお話をお伺いしているうちに、在りし日の飯沼さんのお姿が浮かんで参りました。地区の多くの皆様は、恐らく、ロータリーの会合における飯沼さんがおっしゃった私達の虚をつく鋭いロータリー観に目を洗われる思いを、一度ならず、された筈です。その中でも”ロータリーの奉仕には、お金も、時間も掛かります。しかし一番大切な事は汗をかかなければならないことです。”は、寄付さえすれば、という風潮への警鐘として今も心に残るお言葉の一つです。

第266地区より我が第2640地区が分割・誕生したのが1982年7月ですから、種田憲次パストガバナーのお世話があったことは間違いありませんが、実は、今度、発刊します地区史を見て戴くと判りますように、地区分割を提唱

され、具体的な分割の線引きなどで陣頭指揮を取られたのは飯沼さんです。我が地区の本当の生みの親は飯沼さんなのです。特に、そのご苦勞の過程で、飯沼年度の月信第13号において当時の地区運営における問題点を記述されておられますが、その内容は今日の国際ロータリーにおける地区運営の課題にも示唆を与える鋭い内容のものでした。

このような飯沼さんのロータリーに対する公正な見方とその深い思いを考えると、病に倒れることなく、もう少し我々にご教示戴きたかったとの思いを強くしているの私だけではないと思います。

飯沼さんが天国でもロータリーを論じておられることを信じ、ご冥福をお祈りいたします。

合掌

飯沼 剛パストガバナーのご冥福をお祈りして

国際ロータリー第 2640 地区
PDG 亀岡 弘

ブリスベーン国際大会から帰国し、ファックスを見て目を疑いました。大変可愛がって戴いた先生が、5月30日永遠に旅立って行かれたとは……。一時、足をお悪くされました折にお見舞いに上がりましたときも、まだまだお元気でロータリー談義に花を咲かせたことがつい昨日のように思い出されます。

初めてお会いしたのは、先生が私のクラブにガバナーの公式訪問をされた時でした。クラリッヒRI会長のテーマ「時間を捧げよう奉仕の

ために」を切々と説かれました。ロータリーの理解と認識の基礎の上に立たれ、ご自分の信念を行動に移すという素晴らしいロータリアンであるという印象を受けました。時が経ち、ガバナーノミニーの私が、南紀で開催されましたIMの帰りに電車でご一緒させて戴き、この時にガバナーとしての「いろは」をお教え戴きました。これが大きな支えとなりましたことはいうにおよびません。感謝の念で一杯です。

先生、安らかに眠り下さい。

故飯沼パストガバナー追悼文

国際ロータリー第 2640 地区
PDG(2000 - 01)水田 博史

2003 年 5 月 30 日ご逝去されました飯沼剛パストガバナーのご冥福を心からお祈り申し上げます。

私は、飯沼パストガバナーと出会ったのは、1999 年 4 月頃突如当地区ガバナーノミニーの指名を受けたときであります。その時の出会いでは、多くを語ることもなくお別れし、その後 1~2 回の会合でお目にかかったのみでありました。ガバナー就任当時、会合のご案内を差し上げても体調不良のため案内は必要ないとの

お申し出を頂き、お目にかかることなくご逝去の報に接しました。

本当に希薄なお付き合いでありましたが、飯沼パストガバナーには、当第 2640 地区が現在の第 2660 地区から分割するに当り、ガバナー当時にリーダー性を発揮しご苦勞されたことが地区 20 年誌の記録から偲ばれ、今日の第 2640 地区の基礎を築かれたもとの敬意を表すところであります。今後第 2640 地区の発展にご加護賜らんことを念じ弔辞といたします。